

にんじん 使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<殺菌剤>

薬剤名	対象病害虫						希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード
	黒葉 枯病	うどんこ 病	根腐 病	軟腐 病	斑点 病	菌核 病							
リゾレックス粉剤			●				20～40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	トルクロホスメチル	2回以内(但し、は種前は1回以内、は種後は1回以内)	14
ベルコートフロアブル	●	●			●	●	1000倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	5回 以内	散布	イミノクタジン アルベシル酸塩	5回以内(但し、種子粉衣は1回以内、無人航空機散布は2回以内)	M07
					●		8倍 (2L/10a)	収穫14日前まで	2回 以内	無人航空機による散布			
カスミンボルドー/ 銅シン水剤	●			●		斑点細菌病	1000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	カスガマイシン	2回以内	24
											塩基性塩化銅	-	M01
ロブラール水和剤	●				●		1000～1500倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	イプロジオン	5回以内(但し、種子粉衣は1回以内、は種後は4回以内)	2
	●						種子重量の0.5%	は種前	1回	種子粉衣			
カンタスドライフロアブル	●				●		1000～1500倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	3回 以内	散布	ボスカリド	3回以内	7
ダコニール1000	●						1000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	T P N	5回以内(但し、種子への吹き付け処理は1回以内)	M05
							8倍 (1.6L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	無人航空機による散布			
							16倍 (3.2L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	無人航空機による散布			
	●						12倍 (乾燥種子1kg当り 60mL)	は種前	1回	吹き付け処理(種子消毒機 使用)	T P N	5回以内(但し、種子への吹き付け処理は1回以内)	M05
ポリオキシンAL水和剤	●						500倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	5回 以内	散布	ポリオキシン複合体	5回以内 (殺虫殺菌剤)	19
アリエッティ水和剤	●						800倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	ホセチル	3回以内	P07

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺菌剤> にんじん

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫						希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法等	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード
	黒葉枯病	うどんこ病	根腐病	軟腐病	斑点病	菌核病							
ヨネポン水和剤	●	●			●		500倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	4回 以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅	4回以内 (殺虫殺菌剤)	M01
ファンタジスタ顆粒水和剤	●	●			●	●	3000倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	3回 以内	散布	ピリベンカルブ	3回以内	11
スターナ水和剤				●		斑点細菌病	1000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	オキシリニック酸	3回以内	31
キノンドーフロアブル	●						600~800倍 (100~300L/10a)	収穫3日前まで	5回 以内	散布	有機銅	5回以内	M01
トリフミン水和剤		●					3000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	トリフルミゾール	3回以内	3
Zボルドー				●			16倍 (1.6~3.2L/10a)	-	-	無人航空機による散布	塩基性硫酸銅	-	M01
	●						16倍 (3.2L/10a)	-	-	無人航空機による散布			
	●						500~800倍 (100~300L/10a)	-	-	散布			
アフエットフロアブル	●	●			●	●	2000倍 (100~300L/10a)	収穫7日前まで	3回 以内	散布	ペンチオピラド	3回以内	7
クプロシールド	●				●		1000倍 (100~300L/10a)	発病前~発病初期	-	散布	塩基性硫酸銅	- (殺虫殺菌剤)	M01
コサイド3000	●						500~1000倍 (100~300L/10a)	-	-	散布	水酸化第二銅	-	M01

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

にんじん 使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター

【令和7年5月1日現在】

<殺虫剤>

薬剤名	対象病虫害								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード	
	ネキリムシ類	アブラムシ類	キアゲハ幼虫	キアゲハ	ヤサイゾウムシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ネコブセンチュウ								その他 病虫害
ガスタード微粒剤								●	萎凋病、乾腐病、 白絹病、根腐病、 しみ腐病、一年生 雑草	20～30kg/10a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。	ダゾメット	1回 (殺虫殺菌除草剤)	8F
ダイアジノン粒剤10	●									3kg/10a	は種時及び生育期 (但し収穫90日前まで)	2回 以内	土壌表面散布	ダイアジノン	2回以内(但し、は種前及びは種時は合 計1回以内、生育期は1回以内)	1B
ダイアジノン粒剤5	●									6kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	ダイアジノン	2回以内(但し、は種前及びは種時は合 計1回以内、生育期は1回以内)	1B
ガードベイトA	●									3kg/10a	生育初期 (但し収穫7日前まで)	5回 以内	株元散布	ペルメトリン	5回以内	3A
エルサン乳剤		●								1000～2000倍 (100～300L/10a)	収穫90日前まで	1回	散布	P A P	1回	1B
						●	●			1000倍 (100～300L/10a)	収穫90日前まで	1回	散布			
スタークル顆粒水溶剤		●								2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	ジノテフラン	4回以内(但し、は種時の土壌混和は1 回以内、生育期の株元灌注は1回以内、 散布は2回以内)	4A
										400倍 (0.4L/m ²)	生育期 (但し、収穫21日前まで)	1回	株元灌注			
馬拉ソン乳剤		●		●	●					2000～3000倍 (100～300L/10a)	収穫14日前まで	4回 以内	散布	馬拉ソン	4回以内	1B
アグロスリン乳剤						●				2000倍 (100～300L/10a)	収穫7日前まで	2回 以内	散布	シペルメトリン	2回以内	3A
アドマイヤー顆粒水和剤		●								10000倍 (100～300L/10a)	収穫3日前まで	2回 以内	散布	イミダクロプリド	2回以内	4A

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<殺虫剤> にんじん

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象病害虫								希釈倍数 使用量 (使用液量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の使用回数	分類 コード	
	ネキリムシ類	アブラムシ類	キアゲハ幼虫	キアゲハ	ヤサイゾウムシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ネコブセンチュウ								その他 病害虫
モスピラン顆粒水溶剤		●		●						4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	アセタミプリド	3回以内	4A
ベネビアOD				●		●	●			4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布	シアントラニリプロール	3回以内	28
		●								2000~4000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	散布			
		●		●		●	●			40倍 (1~2L/10a)	収穫前日まで	3回 以内	無人航空機による散布			
プレオフロアブル							●			1000倍 (100~300L/10a)	収穫前日まで	2回 以内	散布	ピリダリル	2回以内	UN
ネキリエースK	●									3kg/10a	発芽期~生育初期 (但し、収穫14日前まで)	4回 以内	土壌表面株元処理	イソキサチオン	4回以内	1B
アクタラ粒剤5								コガネムシ類幼虫		6kg/10a	は種時	1回	全面土壌混和	チアメトキサム	1回	4A
ネマトリンエース粒剤								ネグサレセンチュウ		20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	ホスチアゼート	1回	1B
							●			15~20kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和			
フォース粒剤								クロバネキノコバエ類		12kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	テフルトリン	1回	3A
	●									4~12kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和			
	●									4kg/10a	は種時	1回	作条土壌混和			

※参考資料の作成に当たっては、農業使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農業を使用する方は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農業の誤った使用を行わないようにしてください。

※農業散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農業が飛散（ドリフト）しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※生産履歴の記帳を行って下さい。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

にんじん に使用可能な農薬一覧表

銚田市農業振興センター
【令和7年5月1日現在】

<除草剤>

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の総使用回数	分類 コード
ゴーゴーサン乳剤30	一年生雑草	200~400mL/10a (70~150L/10a)	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ペンディメタリン	1回 ＜適用土壌：全土壌＞ ＜適用地帯：全域＞	3
ゴーゴーサン細粒剤F	一年生雑草	4~5kg/10a	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ペンディメタリン	1回	3
クレマートU粒剤	一年生雑草	4~6kg/10a	は種後発芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ブタミホス	1回	3
クレマート乳剤	一年生雑草	200~400mL/10a (100~150L/10a)	は種後発芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	ブタミホス	1回	3
トレファノサイド乳剤	一年生雑草(ツユクサ科、 カヤツリグサ科、キク科、 アブラナ科を除く)	200~300mL/10a (100L/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	トリフルラリン	1回	3
ロックス粒剤	一年生雑草	4~6kg/10a	は種直後(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	リニューロン	2回以内(は種直後は1回以内、に んじん3葉期以降は1回以内)	5
ロックス	一年生雑草	100~200g/10a (70~150L/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	リニューロン	2回以内(は種直後は1回以内、に んじん3葉期以降は1回以内)	5
		100~150g/10a (70~150L/10a)	にんじん3葉期以降 但し、収 穫30日前まで	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布			
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除 く)	150~200mL/10a (100~150L/10a)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉 期)(但し収穫14日前まで)	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	セトキシジム	1回	1
		200mL/10a (100~150L/10a)	雑草生育期(イネ科雑草6~8葉 期)(但し収穫14日前まで)	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布			

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意をはらっていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。

<除草剤> にんじん

【令和7年5月1日現在】

薬剤名	対象雑草	使用量・薬量 (希釈水量)	使用時期	本剤 使用 回数	使用方法	有効成分の種類	同左毎の総使用回数	分類 コード
マイゼット	一年生雑草	600~1000mL/10a (100~150L/10a)	は種前又は植付前	3回 以内	雑草茎葉散布	ジクワット	3回以内	22
			畦間処理:雑草生育期 (但し、収穫3日前まで)	3回 以内	雑草茎葉散布	パラコート	3回以内	22
プリグロックスL	一年生雑草	600~1000mL/10a (100~150L/10a)	は種前又は植付前	3回 以内	雑草茎葉散布	ジクワット	3回以内	22
			畦間処理:雑草生育期 (但し、収穫3日前まで)	3回 以内	雑草茎葉散布	パラコート	3回以内	22
タッチダウンiQ	一年生雑草	250~500mL/10a (25~50L/10a)	耕起又はは種7日以前 (雑草生育期)	2回 以内	雑草茎葉散布	グリホサートカ リウム塩	2回以内	9
コダールS水和剤	一年生雑草	150g/10a (100L/10a)	は種後出芽前(雑草発生前)	1回	全面土壌散布	プロメトリン	2回以内	5
						S-メトラクロール	1回	
ワンサイドP乳剤	一年生イネ科雑草(スズメ ノカタビラを除く)、シバ ムギ、レッドトップ	50~100mL/10a (70~100L/10a)	雑草生育期(イネ科雑草3~5葉 期)(但し、収穫30日前まで)	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	フルアジホップ P	1回	1
クロロIPC	一年生雑草	300~600mL/10a (70~100L/10a)	は種直後	1回	全面土壌散布	I P C	1回	23
ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草(スズメ ノカタビラを除く)	200~300mL/10a (100L/10a)	雑草生育期(イネ科雑草の3~8 葉期)(収穫45日前まで)	1回	雑草茎葉散布 又は全面散布	キザロホップエ チル	1回	1
バスタ液剤	一年生雑草	300~500mL/10a (100~150L/10a)	収穫前日まで(雑草生育期耕 起前・は種前又は畦間処理)	3回 以内	雑草茎葉散布	グルホシネート	3回以内	10
ラウンドアップマッ クスロード	一年生雑草	200~500mL/10a (通常散布50~100L/10a) (少量散布5~50L/10a)	耕起前又はは種前まで(雑草 生育期)	2回 以内	雑草茎葉散布	グリホサートカ リウム塩	2回以内	9

※参考資料の作成に当たっては、農薬使用基準の内容について細心の注意を払っていますが、農薬を使用する時は、必ず、使用する前にはラベルを見て、対象作物、希釈倍数や使用量、使用時期、使用回数等を確認し、農薬の誤った使用を行わないようにしてください。

※農薬散布時には風向、風速、散布位置やノズルの向き等に注意し、周辺作物に農薬が飛散(ドリフト)しないよう注意して行いましょう。特に、周辺作物が収穫期に近い場合は、栽培者と情報交換することが重要です。

※分類コードは、薬剤の有効成分を作用機構別に分類したものです。異なる数字・記号の薬剤でローテーション防除を心がけてください。